

第5回 天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会
第3回 天神川圏域県管理河川の減災対策協議会 議事概要

1 日時：平成30年5月14日(月) 13時30分～15時40分

2 会場：中部総合事務所B棟2階205会議室

3 出席者

(委員)

倉吉市長 石田 耕太郎

三朝町長 松浦 弘幸

湯梨浜町長 宮脇 正道

琴浦町長 小松 弘明

北栄町長 松本 昭夫

鳥取中部ふるさと広域連合 消防局長 芦崎 理千

気象庁 鳥取地方气象台長 川上 徹人

国土交通省中国地方整備局 倉吉河川国道事務所長 高木 繁

鳥取県 危機管理局長(代理) 副局長 國米 洋一

鳥取県 企業局長 丸毛 裕治

鳥取県 県土整備部長 山内 政己

鳥取県 中部総合事務所県土整備局長 酒本 勇一

(オブザーバー)

国土交通省 中国地方整備局 河川部

4 議題

(1)規約改正について(国・県)

(2)平成29年度の取組報告と平成30年度の取組内容の確認(国・県)

(3)「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画を踏まえた取組方針の見直しについて(国)

5 議事概要

- 規約改正(案)について承認。(委員の追加(国)、機構改革等による役職の修正(国・県))
- 平成29年度 of 取組報告と平成30年度 of 取組内容について確認
(国協議会)
 - ・ハード対策の推進
 - ・ハザードマップの更新及び避難計画の検討
 - ・河川防災に係る勉強会の開催 等(県協議会)
 - ・想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域の公表
 - ・ハザードマップの更新及び避難計画の検討
 - ・支え愛マップづくりを通じた地域防災力向上
 - ・東郷池における水防団との効率的な水防活動に向けての協議
 - ・河川監視カメラ、水位計の増設、ハード対策の推進 等
- 『「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画』の内容を盛り込む形で「減災に係る取組方針」を見直すことを説明し承認。(国)

(主な意見)

- 支え愛マップづくりを水害等への防災力向上に役立てるため、福祉部局だけでなく防災部局も連携して、本気になって取り組んでいかなくてはならないと感じている。
- 高いところに建物がなく、避難場所の選定に苦慮するところ。決壊や越水がないよう、ハード事業にも引き続き取り組んでいただきたい。
- 想定最大規模の洪水について、1000年に1回の確率の雨だから逃げなくて良いと誤解されないよう、表現を工夫してほしい。
- 想定最大規模の洪水時における避難場所を、垂直避難を含めて選定しているところだが、校区を越えた避難についても、避難訓練等で周知する必要があると感じている。
- 想定最大規模の浸水想定では逃げるしかないということになるので、日野川水系協議会で検討している多機関連携型タイムラインも参考にしながら、天神川圏域でも広域避難を含めた避難計画等を検討していきたい。
- 局所的なゲリラ豪雨により過去に土砂災害が発生しており、それについても心配している。
- 土砂災害警戒区域のことも併せて考えると、避難場所の選定は非常に難しい。また、旅館等の全避難についても現実を考えると非常に難しいので、雨量予測等の精度を上げてもらいたい。
- 先行降雨の有無やその後の降雨状況によって、留意すべき災害(土砂、浸水、洪水)が時々刻々と変化する。実際の対応では、災害が単独、或いは複合的に発生するのか、また時間の経過とともに災害の規模や程度がどう変わるのかを把握して適切な判断・対応をする必要がある。よって、発生する蓋然性の高い現象を含めた具体的で詳細な複数のシナリオを意識して、ある程度幅をもって考えておくことが重要である。